

「当院における心筋血流シンチグラフィで虚血所見を認めたが、 冠動脈造影検査で有意狭窄を認めなかった症例の検討」 へご協力のお願い

【目的】

当院における R I で虚血所見（R I 虚血陽性）を認めたが、C A G で有意狭窄を認めなかった症例（C A G 陰性）について、前任施設の結果と比較し検討を行う。

【研究の対象】

3 年間の R I 検査中、R I 虚血陽性かつ C A G 施行例で、そのうち C A G 陽性、C A G 陰性（R I 偽陽性）の症例。

【研究の背景・目的・方法】

<背景>

心筋血流シンチグラフィ（R I）で虚血所見を認めた場合、通常は冠動脈造影検査（C A G）による評価が行われる。しかし、R I で虚血所見を認めたにもかかわらず、C A G で有意狭窄を認めない症例も存在する。前任施設では、これら症例の割合や R O I 設定の影響、患者背景（基礎疾患）を含めた検討を行っており、当院における傾向の把握が求められる。

<目的>

R I で虚血所見（R I 虚血陽性）を認めたが、C A G で有意狭窄を認めなかった症例（C A G 陰性）について、前任施設の結果と比較し検討を行う。

<方法>

過去 3 年間に R I 虚血陽性を認めた症例を対象とした。そのうち C A G を施行した症例について、有意狭窄を認めた症例（C A G 陽性）と認めなかった症例（C A G 陰性[R I 偽陽性]）の割合を算出する。

【研究期間】

倫理審査委員会承認日より 2027 年 3 月 31 日迄

【外部への試料・情報の提供について】

なし

【個人情報の取扱いについて】

本研究は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って実施します。個人情報の漏洩を防ぐため、臨床研究に関する氏名等の個人情報は削除し、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。

また、本研究の実施過程、および結果の公表（学会発表、論文発表）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれないように配慮しています。

【医学上の貢献】

当院における傾向や現状を把握し、偽陽性症例の背景を解析することで、R I の診断精度のさらなる向上が期待できる。

【本研究に対する研究利益相反（COI）】

なし

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
情報等が当該研究に用いられることにご了承頂けない場合には研究対象としません
ので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じる
ことはありません。

研究責任者

国立病院機構 別府医療センター 放射線科

氏名：永谷 大輔

連絡先：〒874-0011 別府市大字内かまど 1473 番地

電話：0977-67-1111 FAX：0977-67-5766